

令和6年度 第46回 全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会 概報

一、日 時：令和6年5月23日(木)～25日(土)

二、場 所：長野市 ホテル国際21ほか

三、参加者：75市町村約170名参加

※うち、首長など参加19市町村

※記念講演の一般参加者除く

四、内容

I 総会

1. 開会

2. 会長挨拶

金沢市 村山 卓 市長

3. 開催市歓迎のことば

長野市 荻原 健司 市長

4. 来賓祝辞

長野県 関 昇一郎 副知事

文化庁 今泉 柔剛 審議官

5. 来賓紹介

6. 議事 議長 長野市 荻原市長

第1号議案 令和5年度事業報告・決算報告

監査報告 (監事 薩摩川内市 有村社会教育課長)

第2号議案 令和6年度事業計画・予算計画

第3号議案 全国伝統的建造物群保存地区協議会規約の一部改正について

第4号議案 役員の改選(萩市 田中 文夫市長より挨拶)

⇒いずれも原案のとおり承認

報告事項

(1) 地区ブロックについて

(2) 令和5年度開催のブロック研修会の報告について

(3) 令和5年度総会後に新たに選定された重要伝統的建造物群保存地区について

(4) 新会員の紹介(宇和島市 金瀬 聡教育長より挨拶)

(5) 令和7年度総会の開催地について(京都市 寺谷景観政策課長より挨拶)

(6) 伝建制度創設50周年記念企画ワーキンググループについて

(7) 令和6年能登半島地震への対応について

7. 閉会のことば 塩尻市 百瀬 敬 市長



会場の様子



会長あいさつをする村山市長

II 記念講演

(講義資料別添)

題目：「伝建地区は地域で豊かに暮らすためのもの
— 戸隠の事例」

講師：工学院大学理事長 後藤 治 氏

伝建地区のこれからについて話され、地区の特性に応じた多様な支援が必要だと述べられた。また、伝建協に部会を設置してはどうかという提案があった。



講義をされる後藤氏

II ウェルカムプログラム

題目：「戸隠の歴史・文化について」

発表者：戸隠中学校3年生

戸隠地区の産業や農業について、歴史的・地形的背景からどのように発展していったかを調べ、発表していた。



発表する中学生

III 首長サミット

コーディネーター：元塩尻市文化財担当課長 渡邊 泰 氏

パネリスト：南木曾町 向井 裕明 町長
塩尻市 百瀬 敬 市長
東御市 花岡 利夫 市長
白馬村 丸山 俊郎 村長
千曲市 小川 修一 市長
長野市 荻原 健司 市長

それぞれの首長が抱く伝建に対する思いや、今後、伝建をどのように活用していきたいかについて意見交換が行われた。また、伝建を活かすために「伝建協」に求めることについて語られた。



首長サミットの様子

IV 現地視察

長野市戸隠伝統的建造物群保存地区



中社地区、宝光社地区を視察。建物の外観を建築当初に復元しつつ、耐震補強を行ったこと等について説明を受ける。また、豪雪地であることをふまえた二重サッシや床下断熱により、居住性を向上している。

V 住民プログラム

テーマ：「伝建地区に役者あり！ ー伝建を楽しむ人たち」

コーディネーター：株式会社石塚計画デザイン事務所代表取締役 安富 啓 氏

パネリスト：横手市 増田まちなみ研究会会長 鈴石 博実 氏

横手市 羽場こうじ茶屋「くらを」 鈴木 百合子 氏

白川村 白川郷萩町集落の自然環境を守る会会長 野谷 信二 氏

白川村 白川村教育委員会文化財担当課長補佐 尾崎 達也 氏

長野市 株式会社縄文屋根 渡辺 拓也 氏

長野市 江戸屋、手打ちそば岳 曾根原 功 氏

安富氏の進行のもと、多様な立場の方から伝建物に対する考えや思いを聞くことができた。

VI オプション視察

テーマ：「戸隠の不思議を探る小旅」

鏡池、戸隠神社奥社参道、戸隠地質化石博物館を見学

長野市が誇る雄大な自然と、その中に調和する伝建物を見て回った。また、地質的要因や地形的要因から、文化・信仰が発展していったことについて説明を受ける。